

鬼 剣 舞

おにげんばい



岩手で受け継がれる
祈りの舞

獅 子 躍

ししおどり



念 仏 剣 舞

ねんぶつけんばい



令和2年1月5日(日) 開場 10:30 開演 11:00

羽村市生涯学習センターゆとろぎ 大ホール

【全席指定】大人 1,500円 高校生以下 500円 ※未就学児入場不可

プレイガイド

ゆとろぎ窓口 (9:00~20:00・月曜休館)

羽村市スポーツセンター (9:00~17:00・月曜休館)

西多摩新聞チケットサービス (土・日曜定休)

マルフジ (羽村・福生・青梅市内 6 店舗のサービスカウンター)

※インターネット販売「カンフェティ」<https://www.confetti-web.com/>

主催：羽村市・羽村市教育委員会 問合せ：羽村市生涯学習センターゆとろぎ Tel:042-570-0707



公演芸能

数多くの郷土芸能が伝承され、その種類、数、質の高さから「郷土芸能の宝庫」ともされる岩手県より、選りすぐりの芸能を公演します。

鬼剣舞(おにけんばい) 出演:岩手県立北上翔南高等学校鬼剣舞部

岩手県内陸中部に位置する北上市周辺に伝わる郷土芸能で、面をつけて踊る勇壮な舞が特徴です。威嚇的な鬼のような面から「鬼剣舞」と呼ばれ親しまれていますが、この面は「鬼」ではなく悪魔を降伏させ人々を救済する「仏さま」を表わしており、舞には天下泰平や五穀豊穫を願う祈りが込められています。



金津流浦浜獅子躍(かなづりゅううらはまししおどり) 出演:金津流浦浜獅子躍保存会

岩手県沿岸南部に位置する大船渡市に伝わる郷土芸能で、背に長いササラを背負い、横に張り出す鹿角と後頭部に太い華鬘(けまん)の綾組みをした獅子頭をまとい、“自らが囁し、自ら歌い躍る”ところが特徴です。祖靈供養、惡靈退散、五穀豊穫を願う祈りが込められており、素朴さの中に高い風格を兼ね備えた金津流は、日本を代表する民俗芸能の一つともいえます。



浦浜念佛劍舞(うらはまねんぶつけんばい) 出演:浦浜念佛劍舞保存会

大船渡市に伝わる郷土芸能で、念佛和讃にのせ仮面をかぶった踊り手に焼香をさせる作法、中踊りでの蹲踞(しゃがみこみ)、後半の剣を振りかざし阿修羅の如く激しい戦いを演ずる豪放磊落な気風が特徴です。その地形から陸の孤島と呼ばれた三陸町越喜来(おっきらい)の浦浜地区の地元民による素朴な芸能として伝承されています。

